



つうしん No. 117 カワセ三通信 9月



発行：彩湖自然学習センター（みどりパル）発行日 2020. 9

きせつ 季節のいきもの

～めずらしい昆虫～

昆虫を見つけたとき「わあ！モンキチョウだ！」
「クワコの幼虫だ！」と、はしゃいでいると、よく
「それってめずらしいの？」とまわりの人から聞
かれます。「そうでもないです」と答えるとちょ
っと残念そうです。また、時々「このあたりにめ
ずらしい昆虫はいますか？」と聞かれます。



モンキチョウ



クワコ幼虫

さて、めずらしい昆虫ってなんだろう。考えてみました。

めずらしいって何だろう

戸田市はきれいに整備された公園が多く、街中で見られる昆虫は少ないかもしれません。普段、身のまわりであまり見られないものがめずらしいものだとすると、昆虫自体がめずらしい生き物なのかもしれません。

「ちがう、そういうことじゃない。」という人もいるかもしれません。数が少なく、ほとんど見ることができないものが「めずらしい昆虫」なのでしょうか。

めずらしい昆虫にするには

数が少なければ「めずらしい昆虫」なのであれば、次の効果的な方法で昆虫の数を減らしてみたとしましょう。

○幼虫の食べもの(食草)を無くす ○昆虫のすめる場所を無くす

昆虫によって雑木林、草原、水辺など、それぞれ好きな場所があります。そこは、食草があり、卵を産める場所なので、無くなってしまうと昆虫が減り、めずらしいものになることができるでしょう。

めずらしい昆虫は必要？

昆虫は、全生物の中で種類も数も多い生き物です。昆虫を食べ物とする生き物もたくさんいるので、みなさんが昆虫採集するぐらいでは、数が減ったりしないはずですが、いま、昆虫の数が減り、見られなくなったことの原因は、人間の活動によってすむ場所や食べ物が無くなってしまったからです。

わたしは、たとえめずらしくなくてもたくさんの昆虫が見られたらとてもうれしくなります。全ての昆虫が当たり前のように見られるようにするためにはどうすればいいんだろう、昆虫もすすめないような世界は人間もすみにくいのではないかな？と思っています。みなさんはどう思いますか？(R.Y)



特にめずらしくはないが、だい
すきなシモフリスズの幼虫



こうざあんない
講座案内(10月)



10月11日(日) ※雨天中止

「秋のいきものがし」

4年生理科の単元「季節と生物」にそって植物、野鳥、昆虫などを観察します。

○対象：小学3年生以上 定員20名

○時間：10:00～12:00

○持ち物：マスク、帽子、タオル、動きやすい服装(なるべく長そで長ズボン)、運動靴、飲み物

○参加費：100円

10月18日(日) ※雨天中止

「昆虫ウォッチング：秋」

草むらをよく見てみると、バッタやカマキリなどの昆虫がにぎやかに動き回っています。講師と一緒に彩湖周辺を歩きながら、いろいろな昆虫を観察しましょう(昆虫持帰り不可)。

○対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴) 定員20名

○時間：10:00～12:00

○持ち物：マスク、帽子、タオル、動きやすい服装(なるべく長そで、長ズボン)、運動靴、飲み物、虫とりあみ、虫かご(貸出可)、虫除けスプレー(必要な方)

○参加費：100円

10月25日(日) ※雨天実施

「ネイチャークラフト」

木の実や枝などの自然の材料で、かわいい飾り物を作ってみませんか? アクセサリーも作れます。オリジナルの作品を記念に持ち帰れば、秋の素敵な思い出になりますよ。

大人の方のみの参加も大歓迎です。

○対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴) 定員20名

○時間：10:00～12:00

○持ち物：マスク、軍手、作品を持ち帰る袋

○参加費：300円(教材費・保険代)



10月31日(土) ※曇雨天中止

「彩湖でお月見」

センターの屋上で満月や星の観察を行います。

○対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴) 定員20名

○時間：18:30～20:30

○持ち物：マスク、筆記用具、小型の懐中電灯(貸出可)

○参加費：100円 ※本講座は9/29(火)10時から受付開始



★申込方法：彩湖自然学習センターへ電話にてお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、お申込みは講座の1か月前の10時から受け付けています。

※問い合わせ・受付時間：TEL:048-422-9991 10:00～16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページをご覧ください。

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)